

2025 年 9 月 4 日 15:00～

キャプテンミーティング

競技部会からの連絡事項

- 大会の様子をオンライン配信しています。会場に限りがあるので、参加校関係者と審判の入場を優先し、学生の皆様は学生控室で配信を見てください。オンライン配信は受付時に渡したパンフレットに QR コードが載っています。
- 架設競技は空いたレーンから順次実施します。架設順はパンフレットに記載しています。
- 各チームから副審 2 名を出していただきます。副審担当はパンフレットを確認してください。
- 最初のレーンのチームは 8:30 に競技開始できるように準備して待機しておいてください。初回のみレーンを振り分けています。5 番目以降は順次空いたレーンに入っていくてください。
- 架設競技の境界線については、**外周**はテープを仮設現場に含める、**仮設ヤードと河川敷の境界**はテープ上を仮設ヤードに含める、**河川と河川敷の境界**はテープ上を河川に含めると定義します。
 - テープの淵から足を出した作業者は仮設ヤードから出たものとみなす。
 - 仮設ヤード内作業を、テープを踏んで行うことは可。
 - テープを踏んだ陸上作業者は河川に侵入したものとみなす。
 - 河川作業者がテープを踏むことは可。
- 企業部門の重量計測は、空いている時間に行っていただきますようお願いいたします。

キャプテンミーティングでの質問

- 作業者が仮設ヤードに入っていると判断されるのは両足入っている場合
- 仮設ヤードにいた状態で仮設ブロックを橋台に手をのばして置くのは大丈夫ですか
 - 仮設ブロックは禁止（2 人以上で持たないといけないため）、1 人で持ち運べるものは可
- 仮設ヤードにいた状態で左右の手にそれぞれ持った部材を橋台に置くのは良いか
 - 仮設ヤード外では持ち運べないルールなので不可
- 橋台に置かれた不安定な状態の複数の仮設ブロックを作業員 1 人で支えておくのは良いか
 - 可能。仮設ブロックが橋台から浮くのはダメ
- 作業員の体に小型カメラをつけておくのは良いか
 - 可能（落下に注意してもらう）

- 架設ヤードにボルト等を置くのは良いか
 - 直接置いても紙コップなどに入れておいてもどちらでもよい
- 仮設ヤード内において紙コップの中にボルトやナットを入れた状態から始めるのは良いか
 - 紙コップが仮設ヤードの床の上に置いてあれば可
- 橋台の橋梁設置位置内には仮設中ずっと範囲内に設置する必要があるのか
 - 最後の安定の時点で範囲内に入っていれば良い
- 橋台上に紙コップ等を置いても良いか
 - スタート，終了時は不可だが仮設中は可
- ~~■ 橋台上に部材などを重ねておくのは良いのか~~
 - ~~→ 不安定とならないように平積みをする必要がある (ルールブック p.12)~~
- 架設時間 30 分をオーバーした場合はどうなるか
 - 別の場所（2 階予備レーン）に移動して続ける，時間の計測は厳密には行わない
- ~~■ 平積みの定義について~~
 - ~~→ 仮設部が安定していれば支えは必要ない~~
- 橋台に接触した状態で組み上げるのが仮設部だと理解しているが，支えている人や作業者の力加減により浮いてしまった場合はどうなるか
 - 浮かせないように努力してもらう．どこか一点がついていればよい．危険だと判断された場合は審判から注意が入る．意図的には行わないように
- 河川作業者が仮設部を一人が片手で支えながら，もう片手で 1 部材を預かることは可能か
 - 可能
- 部材のボルト穴にボルトを入れておくことは可能か
 - 溶接の代わりにボルトで締めておくことは可能だが，別々の部材にあらかじめボルトをさしておくことは不可
- 架設している途中に例えば横桁をボルト等で締めずに置いておくことは可能か（質問のケースは溝のようなものがあり，ボルトを入れるだけで固定できる状態）
 - 落下に注意してもらうが可，自己責任．
- 橋台上に部材などを重ねておくのは良いのか
 - 安定していれば平積みでなくても良い，危険と判断した場合は審判から注意が入る
- 橋の真ん中に陸上作業者が入る場合に手をつくのは良いか
 - 問題なし
- 一部材を仮設ヤードから橋台に運ぶ際には片足が仮設ヤードに入っている状態であれば動かない状態でも複数の部材を運べるか
 - 一部材であれば可
- 架設競技の途中で橋梁の内部に入るのは可能か，安定を宣言する際にその人が中にい

たままでも良いか

→ どちらも可能

- ボルトやナットを入れた紙コップを一人で複数個運ぶのは良いか
→ 問題なし
- 仮設ヤード内で留め具を落とした場合の再利用は可能か
→ 仮設ヤード内は問題なし
- 仮設ヤード内で部材などが重なるのは可能か
→ スタート時は不可だが、競技が始まってからは可
- 橋台に置いてある仮設ブロックを河川作業員 2 人で取ることは可能か
→ 河川から出ていなければ可能
- 仮設ヤード内で組みあがった仮設ブロックを運ぶ際に、片足が仮設ヤード内に入っている場合もう片足は仮設ヤード外に出ている場合はどうなるか
→ 仮設ヤードにいる状態とは、両足が仮設ヤード内に入っている場合を指す
- 部材と部材がボルトでつながっている場合に動くのは良い
→ 剛な接続とする必要があるため不可

企業

- 重量計測はスタッフにお願いするか
→ 本部等で教員に声かけしていただきたいと思います。タイミングとしては学生チームが重量を測るタイミングが良いかもしれません。
- 企業プレゼン提出の期限は
→ 学生と同じフォームに提出をお願いします。締切は 9 月 6 日 8:30 とさせていただきます。
- 架設なしで載荷に参加するが、2 階から 1 階に運び終わってからボルトなどの締めの確認は可能か
→ 競技場に移動した後に橋には触らず、移動前に全ての確認をしていただければと思います。